

さんびょう 三錨Ⅶ

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 27

平成 31 年 3 月 6 日

次年度のより良い学校づくりのために（その2）

～平成30年度 教育活動に関するアンケート結果報告（保護者の部）～

＜保護者用アンケートの結果から＞【提出数 310（回収率 95.0%）】

アンケートの回収率は、昨年度から約2%上がりました。本年度、アンケートと同時に、質問項目の関する取り組み内容を掲載した学校だよりを発行したことも回収率の向上につながったのかと思います。今後とも、積極的な情報発信に努め、「地域・家庭・学校が一体となった学校づくり」により一層努めていきたいと思っています。

※文章中の、A、B、C、D、Eは、次のようになります。

A：そう思う B：どちらかといえばそう思う
C：どちらかといえばそう思わない
D：そう思わない E：判断できない・わからない



◆全体的な傾向に関すること

質問①「学校目標の実現をめざして日々の教育活動の取り組みを進めている」

肯定的な評価が、昨年度から9%上昇しました。学校の取り組みを、ホームページや学校だよりでわかりやすく伝えてきたことで、学校での取り組みが、保護者により理解されてきたと思われます。

◆確かな学力の定着に関すること

質問②「基礎・基本の学力の定着をめざし、少人数（T・T）授業（2年生以上の算数）を実施及び、ベーシックタイム（朝の10分間学習＝読み、書き、計算の習熟）の充実を図っている」

質問③「到達度検査（2～6年対象）や学力・学習状況調査（6年対象）の活用により、検証結果に基づき、指導方法や指導内容を工夫している」

両質問とも、90%の保護者が肯定的な評価をしています。ベーシックタイムの取り組みや、到達度評価を活用した取組については、保護者に一定の理解をいただいていることがわかります。子どもたち自身が「自分はこんな力がついた」「こんなことができるようになった」と、自らの成長を自覚できるよう、働きかけを続けていきます。

◆豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成に関すること

質問⑤「いじめ等につながる言動には、毅然とした態度で指導を行うとともに、アンケートを毎学期実施し、いじめの早期発見と未然防止に努めている」

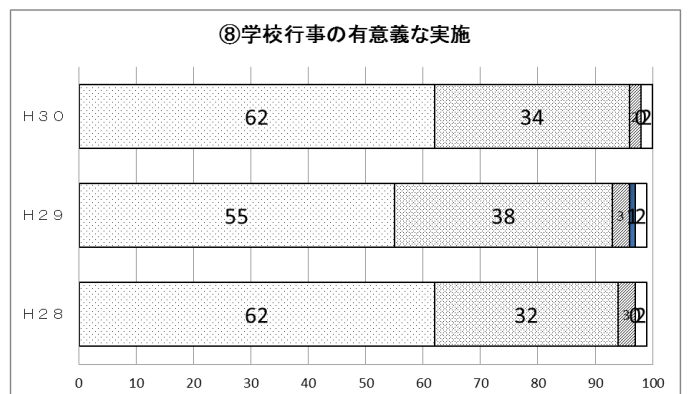
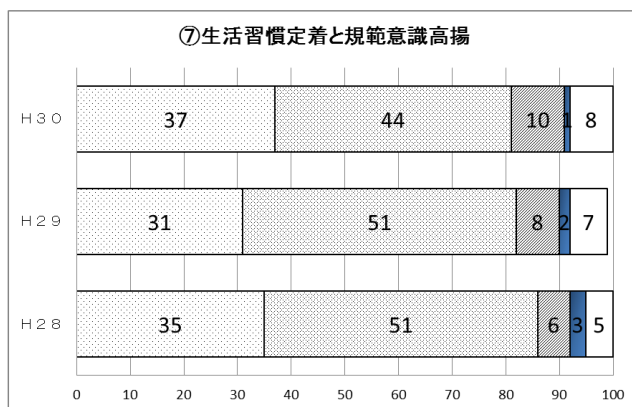
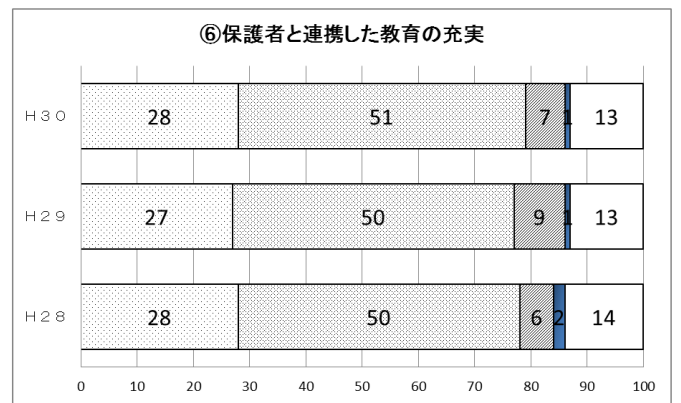
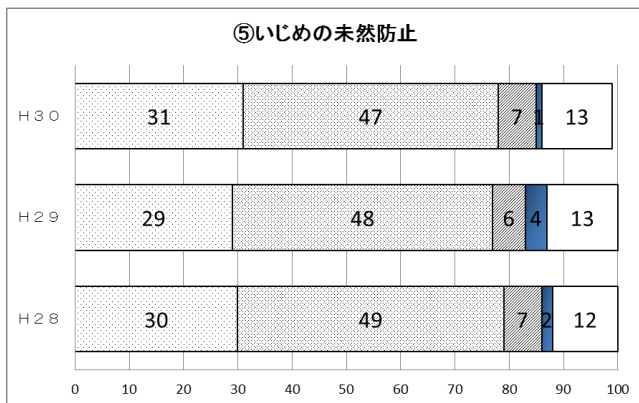
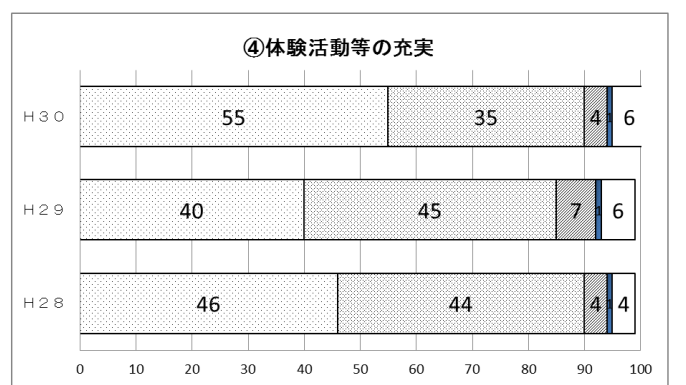
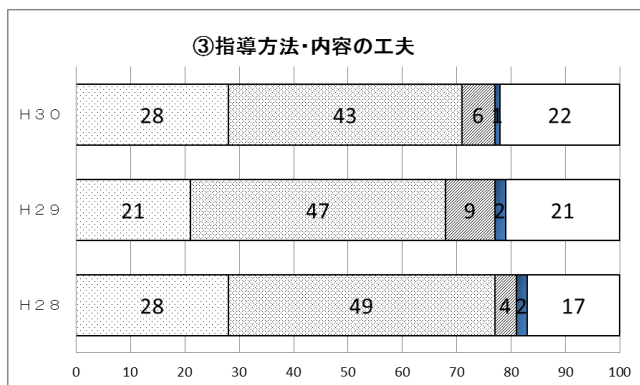
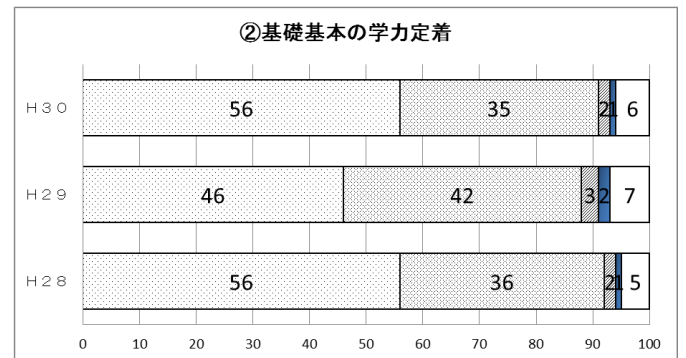
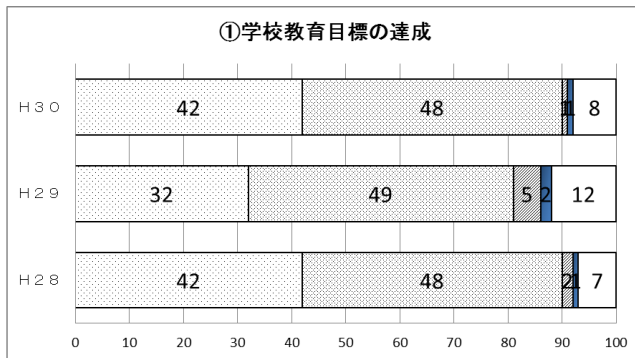
肯定的な評価はこの3年間は、約80%で推移しているので一定の理解は得ていると考えます。質問項目にある「いじめアンケート」や「学級満足度調査（Q-U調査）」を実施し、それに基づいて全員に教育相談を行っていることを、より周知していくことも大事かと思えます。「そう思わない」と評価した保護者は減少していますが、実際にトラブルに接しているか、過去の対応で不十分な点があった可能性が高と思われます。今後とも、担任だけでなく、学校組織として一件一件丁寧な対応に心掛けていきたいと考えています。

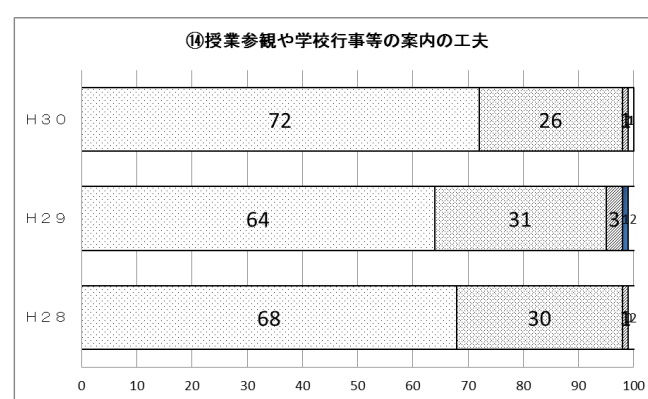
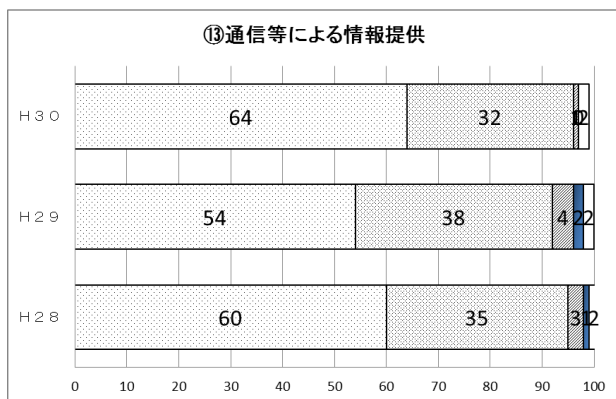
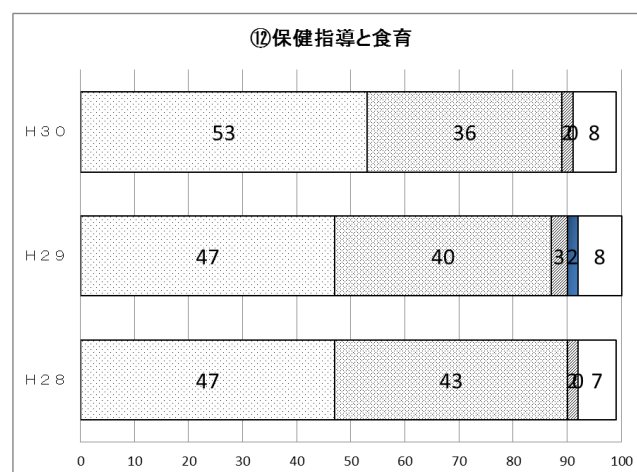
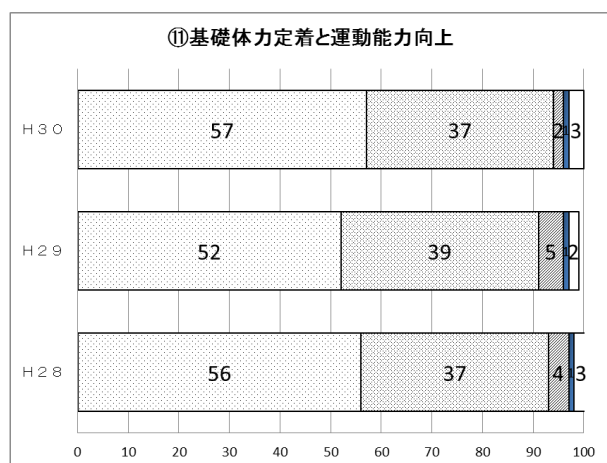
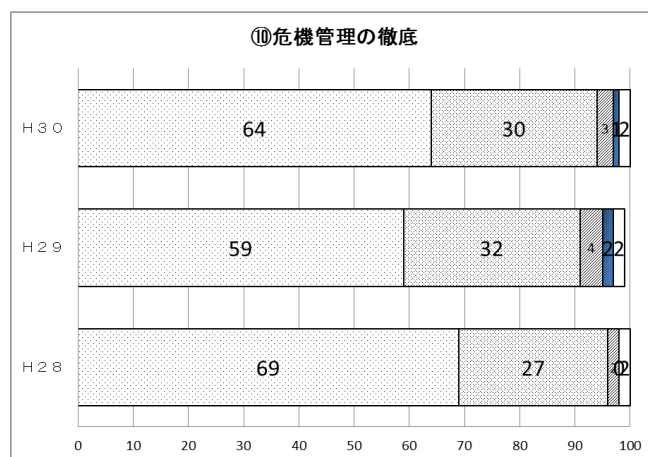
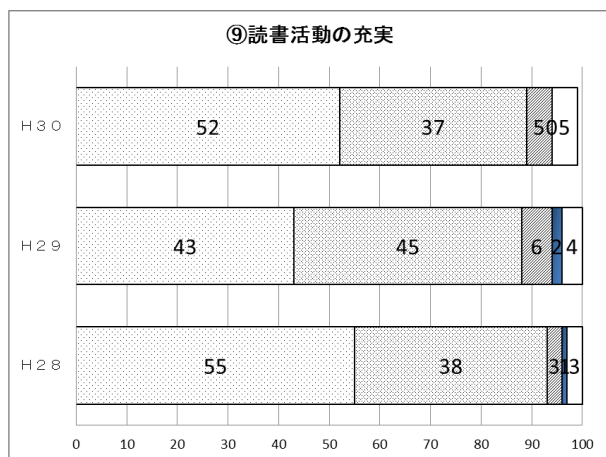
質問⑥「定期的な教育相談の実施やスクールカウンセラーの活用、関係機関・専門機関との連携等、保護者のみなさんと協力して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を推進している」

学校への教育相談に関しては、必要に応じてスクールカウンセラーや専門機関との連携を図りながら取り組んできました。様々なケースごとに、専門機関での児童への個別の指導や、専門家による保護者の教育相談などの事例が増え、成果も上がってきています。

H30 【保護者】教育活動に関するアンケート集計結果

帯グラフの見方 左から
「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そうは思わない」「わからない」





質問⑦「あいさつの励行や時間厳守をはじめとする基本的生活習慣の定着や、社会生活上のルールの徹底により、規範意識の高揚に努めている」

肯定的な評価が3年連続で下落傾向なのが気になるところです。あいさつについては、校外行事・集会・クラス・児童会の取り組みなど、場面に応じてあいさつを意識させる取り組みは日常的に行われています。しかし、「どんなときも」「進んで」「自分から」「相手に伝わるように」あいさつするという面は今後も継続した指導が必要であると考えます。

あいさつの習慣は、学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと思います。今後ともご協力をよろしくお願いします。

質問⑨「読書活動の工夫」日々の読書指導や読書週間を実施し、図書館ボランティア活動の支援を得て、子どもたちが読書に関心を持てる活動を工夫している。

読書週間中の朝の読書では、どの学年においても集中して読書する姿が見られます。また、図書委員会の企画にも多くの子どもが楽しく参加しています。児童アンケートにおいても、進んで本を読んでいる児童の割合は増加しています。しかし、日常的にみると、自分から読書に親しむ児童に偏りがあるのが現状です。保護者の方に協力を得ながら取り組む「ふれあい読書」などの取組をより充実させていきたいと思います。

◆健康・体力の向上と危機管理能力の定着に関すること

質問⑩「子どもたちが安全で安心な学校生活が送れるよう、施設・設備の整備や充実（津波避難用屋外階段設置）に努めるとともに、避難訓練の毎学期実施や台風接近時等に学校だよりの発行・「すぐメール」の発信を行う等、危機管理の徹底に努めている。

学校としては、緊急下校や避難訓練、そのための事前・事後指導などの取組を引き続き行っていきます。また、不審者対応訓練の実施方法については、より効果的な実施方法を検討していきます。今後もケガや事故の防止のため、児童の安全確保、危機管理意識の向上、情報提供に努めたいと思います。

質問⑪「体育的取り組み（鉄棒月間、とび箱月間、持久走月間、なわとび月間）と体育の授業を連動させ、子どもたちの意欲と関心を喚起し、基礎体力の定着と運動能力の向上に努めている。

例年、90%以上の肯定的な回答をいただいています。毎年、年間計画に基づいて各行事や〇〇月間（鉄棒・とび箱・持久走・縄跳び）、体育科の授業等を継続的に行っています。春に行う体力テストでは、全学年で取組み、結果を記録しています。毎年取り組むことで、児童は前年の記録を超えようと意欲的に取り組んでいる様子が多く見られます。

質問⑫「子どもたちの心身の健全な発育のために、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の助言を得ながら、養護教諭・栄養教諭が定期的に保健指導や食に関する授業を行っている」

昨年度やや低下ぎみでしたが、今年度ほぼ90%まで回復しました。学校での取組は大きく変わっていませんが、通信やホームページ等の発行・更新頻度を増やし、発信することに心がけてきました。今後も、学校とご家庭とで連携を図れるよう情報提供に努めたいと思います。

◆地域とともにある学校づくり推進に関すること

質問⑬「各種通信・たより（学校・学年・学級通信、保健・給食・図書館だより）、学校ホームページ等で、学校や子どもの様子が伝わるよう情報提供に努めている」

質問⑭「学校や子どもたちの様子を知っていただく機会として、授業参観日や学校公開日を設定したり、学校行事への参加の呼びかけを行ったりしている」

両質問とも、肯定的な評価をした保護者が、96～98%であり、学校の取り組みがよく伝わっていることを表しています。今後も、学校の取り組みをわかりやすく、タイムリーに地域や保護者に発信できるよう努めていきます。

